

児童養護施設・リゾート・ブランド・ボランティア・スポンサーで連携し、
子供たちのスノーボード体験機会を創出

特定非営利法人CHILL主催のスノーボードプログラムをBurtonがサポート

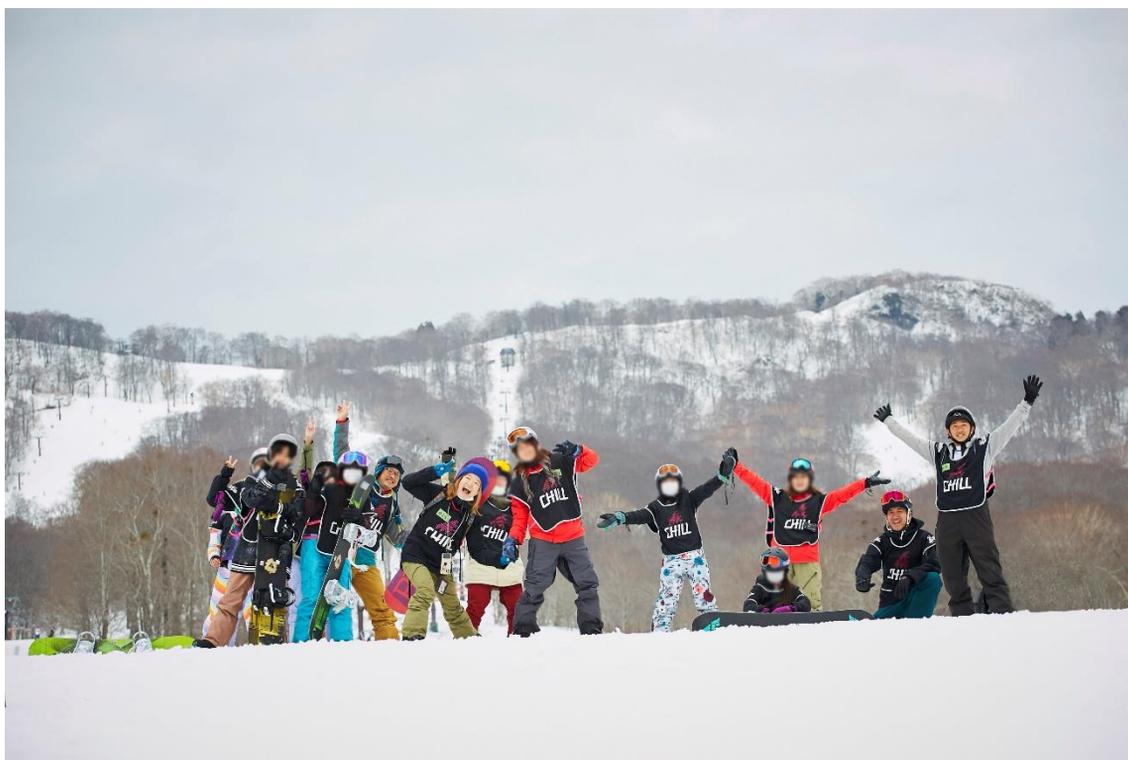
3月17日・18日 群馬たんばらスキーパークにて開催

Burtonでは、特定非営利活動法人CHILLと連携し、より公平なアウトドアコミュニティの育成と若者のキャリア構築を目的とした支援活動を展開しています。

特定非営利活動法人CHILLは、Burtonの創始者である故ジェイク・バートン・カーペンターと、妻であり現オーナー兼会長のドナ・カーペンターによって、1995年に立ち上げられました。スノーボードやスケートボード、SUPといったボードスポーツを通して、若者にキッカケを与え、より公平なアウトドアコミュニティを築いていくことを目的としています。CHILLのプログラムは、家庭的に困難で恵まれない子供たちが、ボードスポーツを通じて現在置かれている状況を乗り越え、前向きに生きられるような勇気を与えたいという想いで展開されており、それぞれが自分自身の可能性に気づき、人生で成功していくチャンスを見つけられるようなサポートをしています。約30年の活動を経て、現在ではCHILLの卒業生がアウトドア業界においてさまざまな活躍ができるように、情報の共有や採用機会の提供、技能の訓練や認定の機会など、キャリア形成の面からも、グローバルな規模で支援の幅を広げています。

日本では、Chill Japanとして活動を展開しており、同じく若者が自分自身の可能性に気づき、人生で成功していくチャンスを見つけるサポートをしています。2003年にスタートしたChill Japanでは、震災で被災した地域の児童生徒や児童養護施設で暮らす子供たち、フリースクールに通う児童生徒などを招待しスノーボード、スケートボード、スラックライン等の体験をサポートしてきました。これまでに1,500人以上の子供たちにボードスポーツの機会を提供し、地域のスキー場やボランティアの支援・協力を得ながら、子供たちひとりひとりが自信をつけて成長していくための活動を続けています。

そしてこの度、3月17日（日）18日（月）に群馬県・たんばらスキーパークにて、子供たちを招待する形式のスノーボードプログラムが開催されました。17日は東京都内の2つの児童養護施設より42名が参加、18日はフリースクールより28名が参加しました。



開催当日の朝、集合場所に到着した子供たちは、1日のプログラムを楽しそうに想像しながら、用意されたスノーボードウェアやゴーグルを身につけ準備を進めました。慣れないブーツに戸惑う場面では、各地から集まったボランティアにサポートされながら身支度を整えスキー場へ。レベル別に分けられたグループをボランティアスタッフが誘導し、それぞれのスキルに合わせてプログラムがスタートしました。過去にCHILLのプログラムに参加した経験のある子供たちは、早速リフトに乗って気持ちよさそうにコースをライディング。スノーボードに乗るのが初めてといった子供たちには、ボードの取り扱い方から上手な転び方まで、ボランティアスタッフが丁寧に教えていました。

お楽しみのランチタイムでは、スキー場のレストランでカレーライスグループみんなで楽しみました。あっという間のプログラムの中で、仲間とのスノーボードを思いっきり楽しんだ子供たち。終始笑顔が絶えない、特別な機会となりました。

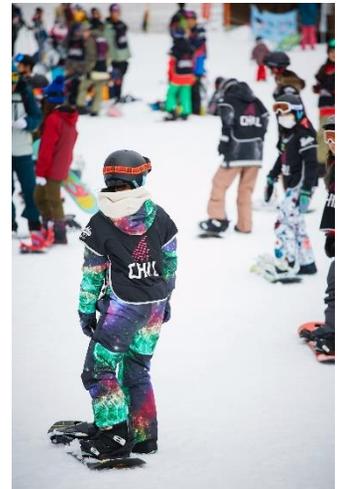
特定非営利法人CHILLのエグゼクティブ ディレクターである小倉一男氏は、次のように述べています。

「CHILLは、活動に賛同して頂ける児童養護施設やフリースクールのほかに、会場となるリゾート（スキー場）、ウェアやスノーボードといった道具を提供してくれるブランド、現場をサポートしてくれるボランティア、資金提供してくれるスポンサーの皆さまが連携し、一体となることで初めて実現できるプログラムです。これまでに1,500人以上の子供たちに、ボードスポーツの機会を提供することができました。これからも、CHILLのプログラムを体験することによって子供たちが自分自身の可能性に気づき、人生で成功していくチャンスを見つけるサポートをしていきたいと考えています」

[CHILL Japanの活動について](#)

[CHILL Japanへの寄付について](#)

[CHILL Japanのボランティア参加について](#)



Burtonの活動の全ては、ブランドが掲げる「[パーパス](#)」に基づいています。山をフィールドとして楽しむスノーボードのブランドとして、「人」、「地球」、そして「スノーボード」のためにできることは何か？を常に追求し、行動に移しています。今シーズン展開されているプロダクトの一つ一つにも、それらの想いが込められています。

Burtonのパーパスについて

私たちが目指す未来は明確です。
関わる全ての人々にポジティブな影響を与えること。
環境への負荷を最小限に抑えること。
そして、思いっきりスノーボードを楽しむことです。

人々のために

人々を尊重するという事は、公正な賃金を支払い、責任ある調達を徹底し、誰もが歓迎されるコミュニティを築くことです。

地球のために

環境への負荷を最小限にする。そのため必要なことは、CO2の排出量を削減し、地球や人々にとって安全で、かつ長く使えるプロダクトを作ることです。

スノーボードのために

私たちの使命は、スノーボードの未来を守り、誰もがライディングを楽しめる世の中にあることです。

2025ゴール

クライメートポジティブに向かって

私たちは、2025年までのクライメートポジティブ達成を目指します。そのために、SBTi (Science Based Targets イニシアティブ) に沿ってカーボンフットプリントを削減し、その排出量を相殺するための投資を行い、そして気候変動を引き起こす構造レベルでの変革を提唱します。

Certified



BurtonはBコーポレーション認証企業

「B Corporation (Bコーポレーション)」=「B Corp (Bコープ)」とは、米国の非営利団体B Labがおこなっている、社会や環境に配慮した公益性の高い企業に対する国際的な認証制度。Burtonは、スノーボードカンパニーとして初めて2019年に認証を取得し、2024年には北米・ヨーロッパ・アジア太平洋エリアにおいて、Burton及びAnonブランドにて再認証されました。

Burtonについて

[ジェイク・バートン・カーペンター](#)は、1977年にアメリカ・バーモント州のガレージでスノーボード作りを始め、Burton Snowboardsを設立。以後、生涯をスノーボードに捧げました。Burtonは、創業時より画期的なプロダクトライン、リゾートに対する草の根的努力、そしてトップレベルのチームライダーにより、スノーボードを裏山での遊び道具から、ワールドクラスのスポーツへと成長させることにおいて、極めて重要な役割を果たしてきました。現在は、スノーボードギアとアウトドアに関連する業界トップのプロダクトをデザイン、製造しています。アウトドア/ウィンタースポーツ業界のサステナビリティ・リーダーとして、スノーボードの企業として世界で初めてB-Corp認証を取得しました。Burtonはドナ・カーペンターにより所有されているプライベートカンパニーで、アメリカ・バーモント州バーリントンに本社、オーストラリア、日本、オーストラリア、カナダ、中国にオフィスを置いています。詳しくはwww.burton.comをご覧ください。